

## 採食性に優れる放牧用晩生品種

# トールフェスク 「ホクリョウ」

トールフェスクは、環境適応性に優れ、北海道から九州までの広い地域で栽培されています。「ホクリョウ」は、越冬性に優れ、放牧における家畜の採食性と生産性に優れる品種です。

栽培適地；北海道、東北、北陸の寒冷積雪地帯および関東以南の標高の高い山間傾斜地の放牧地です。



出穂始めは、「ケンタッキー31」より約1週間遅い、晩生品種です。

北海道、東北、北陸において、「ケンタッキー31」より20%多収です。

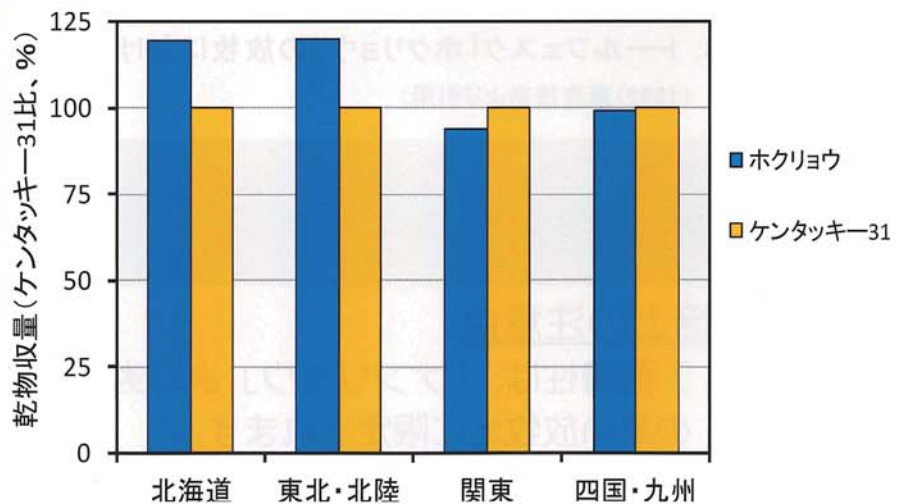


図1. トールフェスク「ホクリョウ」の乾物収量(「ケンタッキー31」比；%、3か年合計収量、北海道5カ所、東北・北陸4カ所、関東4カ所、四国・九州5カ所の平均)

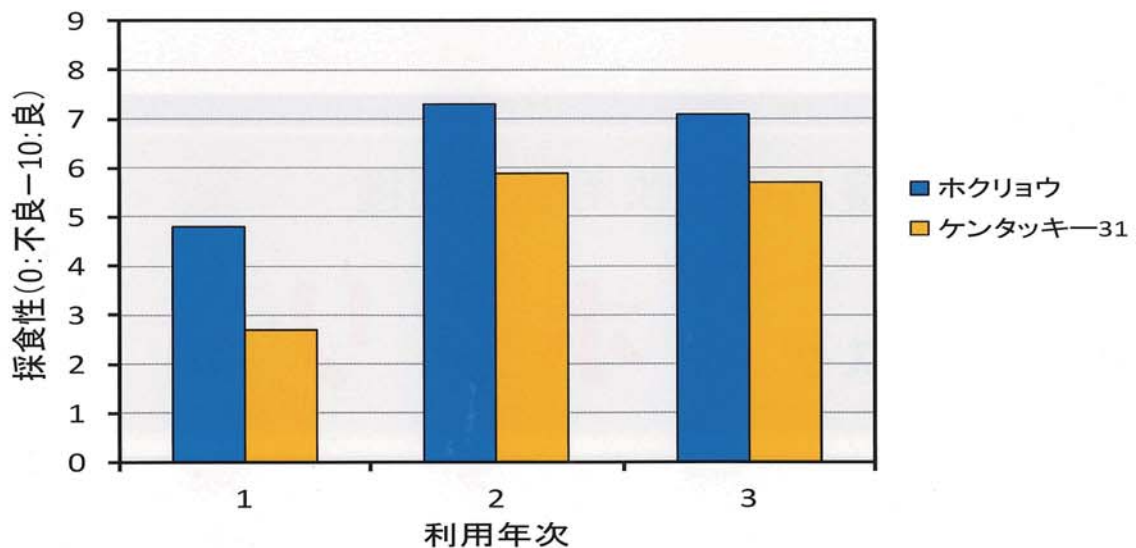


図2. トールフェスク「ホクリョウ」の放牧における採食性（年間平均、新得畜産試験場、川崎・寒河江（1992）畜産技術より引用）

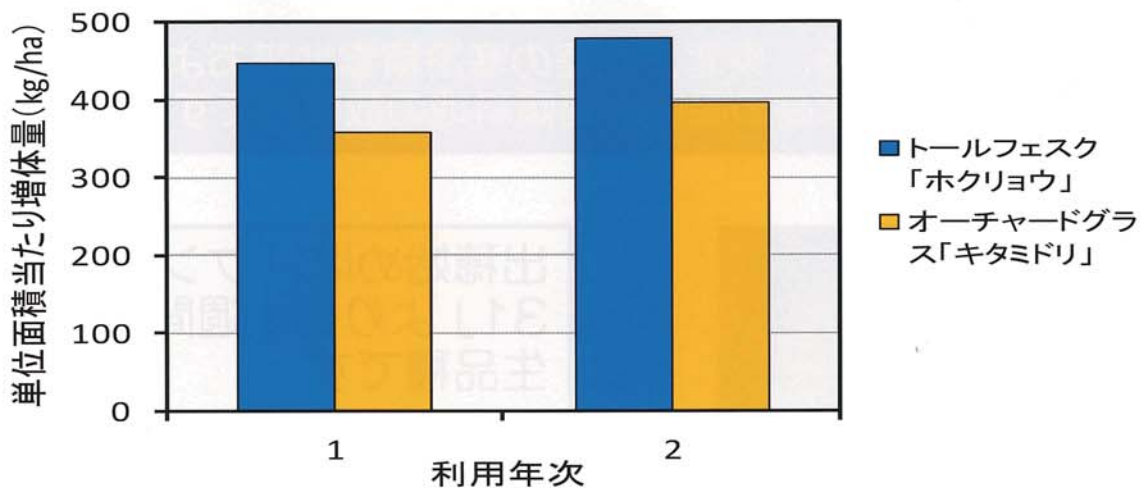


図3. トールフェスク「ホクリョウ」の放牧における家畜の生産性（新得畜産試験場、川崎・寒河江（1992）畜産技術より引用）

放牧における家畜の採食性は「ケンタッキー31」より優れ、家畜の生産性はオーチャードグラス「キタミドリ」より優れます。

### 栽培上の注意点

- 1) 耐暑性は、「ナンリョウ」より劣ります。関東以南での栽培は、標高の高い放牧地に限定されます。
- 2) マメ科牧草との混播では、シロクローバの大葉型（ラジノ型）または中葉型品種との混播を推奨します。

【育成機関】 問い合わせ先：

（独）北海道農業研究センター 酪農研究領域

飼料作物グループ

TEL : 011-857-9273